

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業を通じ、児童一人一人が基礎的・基本的な知識や技能を習得することに目標を置き、指導を行った。計画的に作品作りなどを行うことができた。
- ・裁縫では、苦手な児童も最後まで粘り強く取り組むことができた。作り上げる喜びや達成感をもてるようになってきた。

(2) 課題

- ・限られた時間での指導のため、技能の習得には個人差が見られた。一人ひとりのつまずきに応じた個別指導を取り入れ、さらにワークシートや掲示物などを工夫し、手順よく活動が進められるようにする。
- ・児童が学習した事柄を、日常生活で生かしていけるように、保護者への協力も呼びかけ、家庭学習との連携を図っていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
布の特徴を理解させ、製作の見通しを立てさせる。ミシン縫いのよさや、ミシンの構造を知るための教材教具の提示方法を工夫するとともに、安全面を徹底する。栄養のバランスを考えて食事の計画が立てられるようにユニバーサルデザインの視点から、指導を工夫する。日常生活で活用できるものを製作することで喜びを実感したり、感想の発表を通して製作意欲を高めたりする。	食品群を生かして、創意工夫した献立を考えられるように、教材の提示を工夫する。生活に役立つものを作るための計画を工夫したり、考えたりするヒントを用意する。また、タブレットを活用して、作品について交流する活動を通して、友達の作品の良さを見付ける。	家庭の一員として協力することの大切さや自分の役割について、実践を通して具体的に考えさせる。ワークシートや掲示物などを工夫し、児童一人ひとりが主体的に取り組めるようにする。個人差に配慮した指導方法を工夫し、実践する。より関心が高まるよう、家庭での実践を繰り返していくことを呼びかける。